

「災害医療～わたしたちにできること～」

開催報告

平成 26 年 6 月 7 日（土）に第 13 回刈谷地域リハ・ケアネットワーク作りの会 勉強会を開催いたしました。

東日本大震災の経験や大規模災害が予想される中、今回は普段のケアから少し離れたテーマとなりました。当院の三浦正直救急救命センター長からは、救急医療と災害医療との違いや当院での防災訓練の様子などをお話していただきました。災害用トランシーバーの実演や治療の優先順位決定（トリアージ）など、臨場感のある内容でした。

DMAT メンバーの一杉看護師からは東日本大震災での活動について報告していただき、災害の爪痕を実感されたと思います。

最後に中部包括支援センター主任介護支援専門員の大羽さんから、実際の“備え”の話として、日本介護支援専門員協会の「災害対策マニュアル」をご紹介していただきました。

勉強会に参加された方の多くは、災害時には“要援護者”“災害弱者”とよばれる方々に接しておられます。いかに被害を少なくできるかは、平時の連携や準備にかかっています。これを機に災害対策や BCP（事業継続計画）などを見直していただければ幸いです。



リハビリテーション科
作業療法士 早川 淳子